



1年生から「ありがとう」の気持ちがこもった手紙をプレゼント

6年生はお返しにリコーダーの演奏



伊達西小学校 「6年生を送る会」

「6年生のお兄さんお姉さん、どうもありがとうございました」

3月5日、伊達西小学校では68名の6年生へ感謝の思いを込めて、在校児童が歌やダンスを披露。6年生が参加するクイズなどのゲームも行われました。1年生は、6年生に教えてもらったという「長縄とび」と一緒に跳び、卒業前の最後のひとときを楽しみました。

6年生は、お世話になった学校や先生方への思いを「ありがとうございました」の言葉に込め、また、リコーダーの演奏で、これから学校を引っ張っていく在校生へエールを送りました。

3・8国際女性デー 「だて講演会」

3月8日は世界の女性が「パンと平和」を求めて一斉に立ち上がる「国際女性デー」です。

この日にちなんで、3月9日、カルチャーセンターで、伊達嵐山の会主催の「だて講演会」が行われ、NPO法人チェルノブイリへのかけし代表の野呂美加さんが講演しました。市内外から集まった50名以上の参加者は、原発から子どもたちを守らなくてはならないという野呂さんの訴えに真剣に耳を傾けていました。



原発への思いを訴える野呂さん

表情や着物に時代の移り変わりを感じます



開拓記念館「ひなまつり」

3月3日、開拓記念館「ひなまつり」無料開放が行われました。この催しは、開拓記念館に展示されている巨理伊達家の雛人形を多くの方に見てもらうため、毎年この日に行われています。

「桃の節句」とは程遠い大雪が降る中でしたが、市内外から400名以上が来館し、趣のある雛人形の姿に目を奪われていました。

また、入口ではボランティア「くわの会」が甘酒を振る舞い、来館者の冷えた体を温めてくれました。

伊達肢体不自由児者父母の会 「防災コンテスト～非常持ち出し品を持ち寄ろう～」

3月11日、東日本大震災から2年が経過したこの日、伊達肢体不自由児者父母の会が災害対策の避難グッズを披露する「防災コンテスト」を開催しました。

「みんなが考えたアイデアを出し合い、それぞれの家庭で備えましょう」と同会長の矢野靖恵さんが呼びかけ、参加者はそれぞれの家庭事情に適した食糧や紙おむつ、薬などを含む避難グッズを披露し、お互いに必要なものを見直しなが、いざという時のために、気を引き締めていました。



非常用持ち出し袋の中身を確認する参加者

さまざまな種類の作品が並びました



だてのみらい美術工芸作品展

3月9日から12日まで、カルチャーセンターで「だてのみらい美術工芸作品展」が開催されました。第6回目となるこの作品展は、市芸術文化振興事業の一環で実施、市内を含む胆振西部で活躍する10名が手掛けた、油絵・水彩画・木彫・工芸作品など約70点の作品が並びました。

藍染め作品を出展している濱田春華さんは、「年に一度の作品展です。今後、若手の芸術者が増えてほしいですね」と話してくれました。



健康づくり伊達21 「食の講演会」

2月26日、市の健康増進計画の健康づくり伊達21に基づく「食の講演会」が保健センターで行われました。

今回は、シニア野菜ソムリエとして道内で活躍している萬谷利久子さんを講師に迎え、「もっと野菜を楽しもう！」の演題で野菜を取り入れた食生活についての講演が行われました。

また、市食生活改善協議会が、伊達産の野菜を使ったグリーンスムージーなどを提供し、参加者100名が試食。野菜を美味しく食べることができるメニューに「自分の家でも作ってみたいですね」などの感想が飛び交いました。



野菜で作ったグリーンスムージーのお味は？

シニア野菜ソムリエの萬谷さん